

# 川口芝富士小

# 校庭のモモ収穫



川口市芝富士町の市立芝富士小学校(加藤智美校長、児童数295人)で、3年生の子どもたち(1学級35人)が校庭のモモの実を収穫した。一人4個ずつ、約140個を収穫した。その場では食べないで家庭に持って帰ることにした。「うちでみんなで食べるんだ」と、子どもたちはうれしそうだった。(岸鉄夫)

校庭でモモを収穫。「早く食べたい」と子どもたち—川口市立芝富士小学校

## 「うちでみんなで食べるんだ」

木の上にはまだ大きな実が数十個残っていた。この日、参加できなかった子どもたちのために残したという。

式田さんが同小支援を始めたきっかけは、18年前に地域の知人に頼まれて「グリーンボラ」の植え方を同小の子らに指導したことだった。その時に学校の畑が荒れ果てた。式田さんは房総半島の千葉県御宿出身。子ども時代「グリーンボラ」のメンバー5人に父母の農業を手伝った経験が生きた。その頃すでに校庭にはモモの木があった。式田さんが害虫から防ぐためにモモの実に袋かけをする技術を子どもらに指導している。今年も5月に3年生児童と一緒に袋かけをした。この技術は式田さん「竹井悠馬さんは「ほんのり赤みがついた実は、モモのいい香りがした。早く食べたいね」と。先生の長谷川舞さん。勝負心陽(こはる)さんは「うちでみんなで食べるんだ。1歳の妹も一緒に食べるんだよ」。竹井悠馬さんは「ほんのり」のためにいろいろやってくれた。式田さんに、ありがたうと言いたい」と話した。

加藤智美校長55は「式田さんとグリーンボランティアの人たちが子どもたちを指導してくれるので大変ありがたい」と話していた。式田さんらは見守って